

滋賀県立文化産業交流会館

Art journey

えいじやに

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

北にいらっしやい

今年も「北にきゅんせ音楽会」!

「県内外の方に、滋賀県北部の魅力を知っていただきたい」との思いから、昨年から滋賀県と協力して行っているコンサートです。当館の「邦楽専門実演家養成事業」を経たメンバーで結成する滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」が、県北部を訪ねてワークショップやコンサートを行います。

1月の新江州シアター（小劇場）での「北にきゅんせ音楽会」では、滋賀県の高校箏曲部と共演します。

今年の「北にきゅんせ音楽会」は、藤原道山委嘱作品初演、フレッシュな演奏など魅力満載

プロデューサー：片岡リサ（箏曲演奏家）



片岡リサ

滋賀県湖北地域には素晴らしい自然風景や歴史文化があります。「北の近江振興プロジェクト」では、米原に位置する文化産業交流会館を中心に、高島市内の小学校での箏ワークショップ、そして会館でのメインコンサートなど、和楽器を通して湖北の魅力をお伝えします。湖北の風景を描いた作品「湖北物語」、また世界的尺八演奏家の藤原道山氏に今回のコンサートのために湖北をイメージした委嘱作品の初演をおこないます。伝統を守り大切にす地域ならではのコンサート、ぜひ体感しにお越しください。北にきゅんせ!

【プロフィール】

大阪音楽大学卒業、大阪大学大学院文学研究科博士前期課程修了（音楽学）。平成13年度文化庁芸術祭新人賞を最年少で受賞。第21回出光音楽賞、平成22年度大阪文化祭賞、平成23年度咲くやこの花賞、平成30年度文化庁芸術祭優秀賞など受賞。オーケストラや洋楽器とのアンサンブル、現代作品にも力を入れ、国内外で活躍している。現在、大阪音楽大学特任教授、当館の「箏曲ジュニア・アンサンブル」、「邦楽専門実演家養成事業」の講師を務める。

出演する高等学校からのメッセージ

滋賀県立大津高等学校



滋賀県立大津高等学校邦楽部精鋭13名が「星のように」を演奏します。大津高等学校は、滋賀県のシンボルである琵琶湖と比叡山を望む自然と、少し都会との調和のとれた地域で、生き生きと勉強や部活動に取り組んでいます。邦楽部は昭和58年に創部し、40年以上の伝統を受け継いで全員がとて熱心に毎日練習に励んでいます。本日の「星のように」は、冬の夜空に瞬く星のきらめきを、13面のお箏でさまざまに表現しています。心を込めて演奏いたします!

滋賀県立彦根翔西館高等学校



私たち彦根翔西館高等学校日本音楽部は、彦根市内を流れる芹川のほとりにある校舎で活動しています。現在2年生3名、1年生4名の計7名で日々箏の練習に励んでいます。部員は全員高校から箏を始めた者ばかりですが、個人練習で少しずつ弾けるようになる喜びや、皆で曲を合わせる楽しさに魅了され、これまで続けてきました。「北にきゅんせ音楽会」では、聴いていただく皆様の心に届く演奏ができればと思っています。

滋賀県立彦根東高等学校



滋賀県立彦根東高等学校箏曲部です。私たちの学校は国宝彦根城のお堀の中に取り、彦根城の天守閣に見守られながら日々勉強と部活動に励んでいます。「北にきゅんせ音楽会」では、1年生が「ガジュマル」を、2年生が「北国雪賦」を演奏予定です。皆さまの心に響く演奏ができるよう頑張りますので、どうぞお越しください。

祝! 米田覚士、

「ブサンソン国際指揮者コンクール」優勝!

当館で11月23日(日・祝)に開催した「ぶんさん0歳児からのコンサート」で指揮を務めた米田覚士が、ブサンソン国際指揮者コンクールにて優勝しました。このコンクールは、若手指揮者の登竜門としても知られ、これまで小澤征爾、佐渡裕、沼尻竜典、阪哲朗、沖澤のどか、などが受賞しています。米田覚士から喜びのコメントをいただきました。

2回目の挑戦となった今回のコンクールは、2か月の欧州旅行ついでに「まあ1週間だけブサンソンに寄って受けてみるか」くらいの気持ちで臨みました。優勝の瞬間もフランス語がわからず、周囲の歓声が急に大きくなり、気づけばトロフィーが手の中に。「あ、僕が優勝?」とようやくわかりました。それでも一流の指揮者を目指すうえで避けて通れない舞台だと思っていたので、本当にうれしいです。帰国すると、ご



米田覚士

近所さんから突然声をかけられ、少し恥ずかしくてくすぐったい気持ちにもなりました。来年度からは家族の移住に合わせて拠点を海外に移す予定ですが、3年間続けてきた「ぶんさん0歳児からのコンサート」は楽しさが別格。「この指揮だけは誰にも取られたくない(笑)」と思うほどで、来年以降も機会があれば出演したいと思っています。

「びわ湖ミュージックコネクト」のバトン

「びわ湖ミュージックコネクト」は、キャリアを重ねた滋賀にゆかりのある音楽家が、新しい創造を未来に向けて発信していくコンサートです。9月の公演を終えた田島茂代からは感想を、3月に公演を迎える稲垣聡からは意気込みのコメントをお届けします。

2025年

9月20日(土)「びわ湖ミュージックコネクト Vol.3」

出演：田島茂代(声楽)、山岸茂人(ピアノ)



田島茂代

今回、ドイツ語によるシューベルト、シューマンなどの作曲家の作品と、日本語による山田耕柞、大中恩などの作品を、親しみやすい曲から芸術性の高い曲まで、歌曲の幅広い可能性をさまざまな方向から楽しんで頂ければという思いで選曲いたしました。中でも歌舞伎舞踊「娘道成寺」を元に作られた橋本國彦作曲「舞」では衣装も特別なものをまとい、舞いながらの演奏で、山岸茂人さんのピアノも壮大で素晴らしく、私自身にとっても大変印象に残っています。今回の演奏会は、今後の大きな励みとなりました。一つの事を長く続けている者に光を当ててくださるこの取り組みは素晴らしいと思います。本当にありがとうございました。(田島茂代)

2026年

3月28日(土)「びわ湖ミュージックコネクト Vol.4」

出演：稲垣聡(ピアノ)



稲垣聡

米原でのリサイタルは実に約25年ぶりでも懐かしい想いとともに、このシリーズではこれまで素晴らしい演奏家の方々が続々と!!出演!!されていますので、楽しみでもあり、プレッシャーでもあります。今回はピアノの詩人と魔術師と称される「ショパンとリスト」の作品をお届けいたします。パリの社交界で出逢った二人は、人々を魅了する素晴らしいピアニストであったとともに、多くのピアノ曲を世に遺しました。同じピアニストとして音楽家としてお互い切磋琢磨した二人ですが、性格も、音楽表現も、作品の特色も、また私生活までもすべてが対照的でした。そうした二人が活躍したパリを舞台に、彼らの音楽とともに旅して頂けるような演奏会にできればと思っています。(稲垣聡)

日 時	2026年3月28日(土) 14:00開演
会 場	滋賀県立文化産業交流会館 新江州シアター(小劇場)
料 金	一般3,000円 青少年(24歳以下)1,500円 [全席指定] 1/17(土)発売
お問合せ	滋賀県立文化産業交流会館 TEL. 0749-52-5111

地域創造部情報

滋賀県アートコラボレーション事業

CLOVER DREAM LIVE

詩人 上田假奈代と音楽家 鈴木潤が、守山市「マザーボード」に集まった若者たちと詩と音楽のワークショップを実施。社会的養護施設出身者を中心とした若者たちのそこで生まれた言葉を届けるライブを実施します!心の自由な言葉が音楽となって羽ばたきます。

日 時	2026年2月22日(日) 15:00開演
会 場	守山市役所 多目的ホール (守山市吉身2丁目5-22)
料 金	入場無料 ※事前申込不要
お問合せ	080-4293-3087 (四つ葉のクローバー 担当:大江)



公益財団法人びわ湖芸術文化財団・甲賀市土山歴史民俗資料館 連携企画展

びわ湖・アーティスト・みんぐる 音楽とアートでつづるおうみの民話 vol.2 「大蟹とお坊さん」

ぼくらが見て、さわって、食べて、知って、つくったこと

地域創造部は県内各地の民話をリサーチし、新曲を演奏するコンサートシリーズを行っています。2025年は甲賀市に伝わる「大蟹とお坊さん」をリサーチし、9月にコンサートを行いました。今回の展覧会では、コンサートの会場を彩った舞台美術をご覧いただけます。子どもたちや地域のみなさんと一緒にワークショップでつくった、エネルギーな作品の数々をご覧ください。

期 間	2026年1月28日(水)~2月22日(日) 10:00~17:00 ※休館日:月・火曜日
会 場	土山歴史民俗資料館(甲賀市土山町北土山2230)
展示構成	野田幸江(現代美術家、ハナノエン店主)
民具紹介	佐野正晴(甲賀市歴史文化財課)
料 金	入場無料・事前予約不要 お問合せ 地域創造部 TEL. 077-523-7146



地域創造部 活動報告

アートと地域のためのスモールトーク・プロジェクト

地域創造部は、文化ホールにより多様な人々が関わることを目指し、県内2カ所の拠点を中心に、「アートと地域のためのスモールトーク・プロジェクト」を実施しています。

- 旧大津公会堂
大津のまちなかにもっと表現活動を広げるには?をテーマに、レクチャーや街歩きを実施しました。
- 愛荘町立ハーティーセンター秦荘
外国人住民にもっと文化ホールを楽しんでもらうには?をテーマに、多言語のテーブルゲームで遊ぶ「WORLD GAME PARK」を、毎月土曜日に実施しています。



←WORLD GAME PARKの詳細はこちら(カフェ YAKUBA インスタグラムQR)

3月下旬に「アートと地域のためのスモールトーク・プロジェクト」報告書を発行し、地域創造部ホームページに掲載予定です。

季刊誌 湖国と文化 第194・冬号

特集 ヨシ・里湖の現風景~環境・文化・地域にヨシへ

国の重要な文化的景観第1号「近江八幡の水郷」など、美しいヨシ群落は湖国の宝です。開発やヨシ産業の衰退などで、ヨシ原の姿は大きく変わっています。湖国の原風景・ヨシの「現風景」を伝え、未来へ継ぐ手がかりを探ります。

2026年1月1日発売予定

<販売価格> 770円

<取り扱い> 県内書店、公式オンラインショップ、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など

<お問合せ・購入申込>

びわ湖芸術文化財団 地域創造部
「湖国と文化」編集室
TEL.077-523-7146

